

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

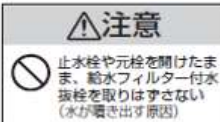
お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

凍結予防のしかた

1 止水栓または元栓を閉める

- ・給水が止まる



●水抜栓がある場合

- ・水抜栓を操作して給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

2 ロータンクレバーを大洗浄側に回してロータンクの水を抜く

- ・水が流れなくなるまでレバーを回す



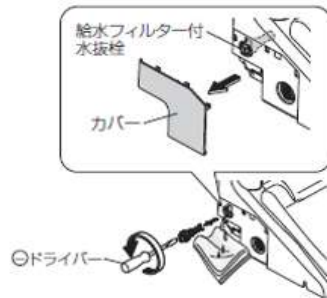
3 を押す

- (給水管の圧抜き)

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く

- ①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす
- ・給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめたあと、引っ張る

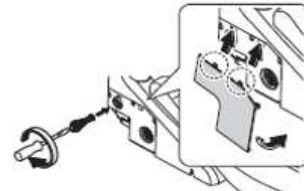


②給水ホースの水を抜く



③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 便座温度を「高」、温水温度を「高」にする

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを開けておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因) (凍結して製品破損などをおこす原因)

水抜きの方法

① ロータンクの水を抜く

②  を押す
(給水管の圧抜き)

③ 電源プラグを抜く

④ 配管の水を抜く

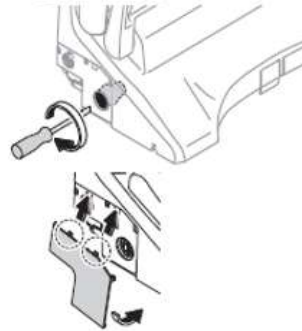
※水を抜いた後、カバーははずした状態にしておいてください。

⑤ 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

・ノズル付近から水が出る
(水がすべて抜けるまで約3分かかります。)
※水抜きプラグは取りはずしできません。



⑥ 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバーを取り付ける



■凍結のおそれがあるときは

・便器のたまり水（封水）に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

・再通水が必要です。

再通水の方法

① 止水栓または元栓を開ける
または水抜き栓を操作して、給水する

・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

② 電源プラグを抜いているときは

電源プラグをコンセントに差し込む

・「運転」ランプが点灯する

③ ノズルから水を出す

①便座の左側を押したまま、

②リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから約2分間水を出す

・ノズルから水が出るまで最大約1分かかります。

・水は紙コップなどで受けてください。

③リモコンの「止」ボタンを押す

■残水が凍結して出ないとき

・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める



水でぬらしたやわらかい布
(傷つきを防ぐため)